

事業名	代表者所属	山口大学 大学院理工学研究科
14KJ-017	代表者	准教授 安達 健太
山口大学理学部サイエンスワールド2014～ 不思議と驚きのサイエンス・ショー～	開催地	山口市
	助成金額	15万円
活動概要		
<p>日時 平成26年10月19日(日)</p> <p>場所 山口大学 吉田キャンパス 理学部</p> <p>対象 小・中・高校生やその保護者・地域住民</p> <p>参加者(人) 1,034名</p> <p>内訳(小中高の先生;約20人)(生徒;約600人)</p> <p>内容 大学生による企画ブース・科学アトラクション(理学部ミステリーツアー)・サイエンスセッションU18(中・高校生による研究発表)・公開市民講座ほか</p> <p>講演;1件、発表;31件</p>		



賑わいをみせる会場(学生展示ブース)



熱心に説明に聞き入る子供たち  
(理学部ミステリーツアー)



観衆の前で発表する高校生  
(サイエンスセッションU18)



公開市民講座『いつか必ず起こる大地震から  
命を守るために』

#### 事業の目的・ねらい

山口大学理学部は「自然科学の魅力を地域の青少年や市民に広く発信する」を合言葉に、小・中・高校生やその保護者・地域住民が身近に自然科学に触れられる場として「理学部サイエンスワールド」を長

年途絶えることなく開催してきた。本年度は、県内の博物館や青少年科学館、中学や高校の科学部、県内のSSH指定校との連携を強化した。従来の学生企画の展示実験の他に、博物館・科学館イベント、高校生主体の研究発表などの特別企画を追加した。目の前で起こる様々な科学現象等を通じて科学の楽しさを味わえる企画を多く設けることで、科学の面白さや社会的意義を広く知ってもらうと同時に子供たちの理科離れの解消に大きく貢献することを目的とした。

## 事業の概要

秋晴れの中(平成26年10月19日(日) 10:00~17:30)、サイエンスワールド2014を開催した。理学部並びに教育学部理科教育専修の学部生・院生らが企画立案を行なった展示ブース16件、県内の青少年科学館(防府市青少年科学館ソラール)の展示ブース、理学部内を巡りながら実験を行う科学アトラクション(理学部ミステリーツアー)、および高校生・中学生による研究発表10件(サイエンスセッションU18 浜田高校・益田高校・山口高校・萩高校・宇部高校・高川学園高校・高川学園中学校が参加)、外部講師・大木聖子先生(慶應義塾大学)による特別公開市民講座『いつか必ず起こる大地震から命を守るために』、更に日本化学会主催の夢・化学21など趣向を凝らした様々な企画を実施した。

## 結果及び効果

今年で16回目の開催となるサイエンスワールド2014は、山口市内外からの来場者1034名、主催者側(教員・学生)約120名の盛大な催しとなった。会場の至る処で、歓声を上げながら実験に見入る子供達や、真剣に実験に取り組む子供達の姿が見られた。本事業に参加した本学学生にとっても、展示ブースの企画立案・実施を通じて「科学の魅力をどのようにアピールするか?」「分かりやすい説明をどのように工夫するか?」など多くの事を学べた有意義な体験となったと思われる。また、特別公開市民講座『いつか必ず起こる大地震から命を守るために』では、これまでにない幅広い年齢層の市民が参加し、聴講した。

アンケート調査の結果、毎年本事業を楽しみにしている家族連れも多く、来年も是非とも参加したいという意見が数多く寄せられていた。以上から本事業は、一定の成果を得たと評価できる。